

ベトサダニュース

代表より挨拶

こんにちは。今年の春はもう、感じられます。

さて、札幌市の地下道、歩行空間や、地下通路などにホームレスをしている、状況の方がまだ三十名余りいます。午前十二時から早朝五時まで、シャッターが下りて、彼らは地上に出されず。

また、横になれるベンチの撤去もされます。これは昔(十年前)と変わらない行政のやりかたです。今の社会は極貧の路上になる方々を、生み出しています。

「隣人愛は、この地上のもっとも貴重な宝物」と聞きましたが、私たちにあっては隣人とは(？)あなたと隣人とは(？)。

ベトサダはシェルター対応を活動のひとつの柱としていいます。ほんとうに、現実に沿った助け手の活動をしていまして、ベトサダに共感を寄せていただく、会員のみなさまは、私たちの大切な隣人！です。

みなさまがベトサダの支援につなげてくださいますので、日々を活動できます。と、言っても過言ではないです。

NPOは単年度締め、で動いています。四月から生活困窮者自立支援法が決定して、助けて「当事者の方・弱者」の助け手となるベトサダと、変わらなうなっていたと考えます。

代表 眞鍋



朝回りにて、札幌市内の早朝



入荘者の声

恥ずかしながら、私は三度目の入荘をしている五十代の男です。前回、このベトサダに入荘して、親切にしてもらったけど、働ける自信がどうしても持てず、生活保護を願って出て、他の団体に行きました。

でも、そこでの生活に馴染めず、どうしても嫌で飛び出してしまいました。すぐにベトサダに相談するの気が引けて、所持金がなくなるまでさまよっていました。そしてとうとう、空腹に我慢が出来ず、食べ物を買ってしまいました。警察のお世話になりました。

警察で話をしたら、ベトサダに連絡をしてくれて、こんな私を黙って入荘させてくれました。身なりも髪も心配してくれました。心から心配してくれました。

今回はタイミングが良かったのか除雪の日払いの仕事がすぐありました。久しぶりに働いて手にしたお金、本当に嬉しかったです。

今、私は警備の仕事に就きながらお金を貯めています。車の誘導の仕事です。働く事で、人生に少しだけ希望も感じています。



- ・あゝ定年 これから妻が 我が上司
- ・ありのまま 食欲のままに 雪だるま
- ・嫁出かけ ネコはカルカン 俺サバ缶
- ・壁ドンは ダメよ ダメダメ 借家でしょ！
- ・ついで来い！ 苔ニッコリ 台「なんて？」



今年のサラリーマン川柳の大賞候補の一部です。悲哀の中にもほっこりするものもありますよね(*_*)

ちょっと一息

NPO法人
自立支援事業所ベトサダ
〒001-0021
札幌市北区北21条西2丁目1番3号
TEL 011-716-5130
FAX 011-708-7117
http://www.npo-bethesda.com
mail: office@npo-bethesda.com

スタッフになって

私は、昨年よりベトサダのスタッフになりました。二瓶と申します。以前に勤めていた会社を辞め、あても無く札幌にきました。所持金が無くなり路上生活をしていました時、ベトサダに命を救って頂きました。そしてスタッフに誘って下さったのです。

スタッフと云っても当初は解らぬことだらけで、先輩スタッフの方々から、親切丁寧に教えて頂きながら、今日まで微力ながら働いている人達の支援をしてきました。

私自身も色々な事情が重なり、自分ではどうする事も出来ず、路上生活に至った訳ですが、ベトサダに来る人は単に路上生活をしていただけでは無く、様々な事情や境遇がある事に、正直驚きました。

人によって違う事情に臨機応変に対応するスタッフを見て、自分には到底出来ない事と思いついていました。

事務局長より

いよいよ四月から生活困窮者支援法がスタートします。

市の委託四団体が「一般社団法人 札幌一時生活支援協議会」を設立しました。新しい事務所も決まり、そこで相談を受け各支援先につなげていく事になります。協議会には3名が常駐し相談、総括を行います。

相談はまず、協議会を通してと云う事になります。一般に認知されるには一年くらいの期間はかかると思われ、今年度は従来と変わらず、各団体に相談者が直接アプローチしてくると思いますが、直接アプローチしてくる方は、後協議会に上げ認定、仮認定をもらう事になります。それにより支援が始まることとなります。

各団体での振り分け受け入れ人数も確定しました。総受け入れ上限人数一日五十名(女性専用六名含む)で、女性専用が団体有るので、三団体で四十四名(男性、家族等)の受け入れになり、ベトサダはその内三十三名(男性のみ)の受け入れになります。

今の受け入れ可能人数より五名マイナスになります。



二月二十一日、朝回り時に、札幌の地下歩行空間にて、撮影。まだ若い三十代の方で、室内とはいえず、厳しい寒さです。

自分が経験した路上生活で感ずけた事や気持ちを考え、これからどうしたらいいのか、どうすれば今の自分を立て直せるのか、それについて今一度立ち返って考えてみました。



そうする事によって、何か見えてくると思ったのです。答えは「今の自分に出来る事をする」それ以外に無いと思えました。

前述した通り三十三名の受け入れ人数が少なく、他団体の受け入れ人数が多いため、ベトサダとしては今までも何ら変わりなく一時生活支援を行って行く事になります。

予算も固定費と変動費(補正予算)を合わせ概算で、本年度と同等の金額になりそうです(受け入れ人数による)。各団体のキャッシュフローが違いうのに固定費が均等というのは少し気になります(汗)

初年度です。手探りでの運営になり、いろいろな問題点、運営方法等は次年度以降に反映されると思えます。スタッフは秒読みです。ベトサダとして出来る限りの事を行って行きます。

また、ベトサダの他事業になります。中間就労事業を続けていきます。就労したくても就職出来ない諸事情を抱えた人たちに、就労を目指して訓練してもらい、社会との繋がりを、人と繋がる、就労の意欲を喚起させる事を旨として行っていきたいと思います。

生活保護に繋げることは簡単に出るのですが、年も若く就業出来る可能性のあるのに生活保護に繋げることは、生活保護依存症に成り易いと考え、一人一人多くの人を社会復帰させたことを考えているからです。

専門知識や経験も無い自分が、その人に一番良い方向に導く事や、そうする事によって生じる責任の重さを常に考えながら、入荘者やベトサダを訪ねてくる人に接し、支援していかうと思えます。

来年度は国の制度も変わり、色々な事に対して、私自身が勉強していかなければなりません。でも、ベトサダがすべき事は変わらないので、困っている人の手助けに努めています。

私はこれから先も、ベトサダに「来た日の事を忘れず、周りの方々に指導を頂きながら、日々活動していきます」。

支援者の皆様、どうぞよろしくお祈り致します。
【支援スタッフ・二瓶】



ベトサダは法律が変わろうとも、変わる事無く自立支援を行っていきます。

今後とも皆様のお力添え宜しくお願いいたします。

ぎりぎり状態が入荘して来られる方がとても多いベトサダで、日に日に生気を取り戻していき、笑顔に顔を触れたいと、支援という意味を深く考えます。

特にこのベトサダにおいては、会員の皆様、寄附や寄贈を下さる皆様のお力がとても大きいです。今年に入ってから、温かいご支援たくさん頂きました。衣料、調味料、お菓子、書籍、お米、どれも大切に使用していただいております。会費や寄附は無駄にすることなく、入荘し自立を目指す人のために活用させていただいております。

◆年会費・寄附 ご送金先◆
【ゆうちょ銀行】
口座番号 02720-1-45798
口座名義 特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ

みなさまの 会費・寄附は 自立を目指す若者の 生きる希望となります

ハレンタインのご寄贈 ありがとうございます



今冬は全国的に冬の嵐に何度も見舞われています。道東地方では、暴風雪の他に、高潮の被害もあり、大変なご苦労をされていると思います。

札幌市も例年より、歩行者の転倒事故で怪我をされた方がとても多いそうです。雪解けまで、まだまだ日もありますが、外出の際は、くれぐれもお足もとにお気をつけ下さいね。